

10月4日（日）に実施された、令和8年度の「1級土木施工管理技士 第二次検定試験」の問題は、過去問ベースの出題傾向で大きな変わりはありませんでした。

全体的な難易度は例年通りの難易度だと思います。

合格するためには、過去問10年分の意味を理解して徹底的に解き続ける必要があると感じた試験でした。

問題1 必須問題 経験記述

難易度：やや難しい

・工事概要

工事概要は例年と変わりのない内容で、しっかりと事前に準備していれば記述できた内容です。

・設問1 安全管理

安全管理は例年通りの内容に加え制限がありました。

「**労働者の災害防止に向けた**」という文言が追加されていたため、第三者災害で記述を用意していた方は戸惑ったかもしれません。

- （1） 具体的な**現場状況**と特に留意した**安全管理上の技術的課題**と、その課題を解決するために**検討した項目** は前年と変わらず **8行**。
- （2） （1）で記述した検討項目の**対応処置**とその**評価** も変わらず **8行**でした。

・設問2 工程管理

工程管理は平成24年に出题されて以降、**14年**ぶりに出题されました。

TACでは工程管理に関する課題添削を行っていたため、受講生の方はしっかり対応できたと思います。

- （1） 施工の際に特に留意した**工程管理上の技術的課題**と、その課題を解決するために**検討した項目** は **8行**。
- （2） （1）で記述した検討項目の**対応処置**とその**評価** も **8行**でした。

問題2、3 必須問題 穴埋め、記述形式の問題

難易度：例年通り

問題2

出題内容は、**コンクリートの品質管理**でした。

この問題は、**令和3年 問題5**と類似であったため、対策をしていれば3問ほどは解けたのではないかと思います。（イ）1.5と（ニ）**成績表**は過去問からの出題はなく対策しづらいものでした。

問題 3

出題内容は、**建設廃棄物の現場内保管**に関する問題でした。

この問題は、**令和 4 年 問題 1 1**と類似であったため、対策をしていれば**全問解答**できるものでした。

問題 4 ～ 7 選択問題 穴埋め問題

難易度：例年通り

私が受験した場合は、**問題 5**と**問題 6**を選択します。

問題 4

出題内容は、**コンクリートの養生**に関する問題でした。

この問題は、**平成 3 0 年 問題 4**と類似でしたが、初出題の穴埋めも多く散見されたため、少し難しさも感じました。**(ハ) せき板**と**(ホ) 振動**は対策しづらいものでした。

問題 5

出題内容は、**盛土の締固め管理の規定方式**に関する問題でした。

この問題は、**平成 2 9 年 問題 3**と類似であり、解答する内容もほぼ同じであったため、過去問を対策していた方は**完全解答**できたのではないかと思います。

問題 6

出題内容は、**墜落による危険の防止**に関する問題でした。

この問題は、**令和 4 年 問題 6**及び**平成 3 0 年 問題 5**と類似でした。

初出題の穴埋めもありましたが、比較的解答しやすい内容の問題であり、墜落による危険防止対策に関する過去問を復習しておけば4問は解答できる内容でした。

問題 7

出題内容は、**建設副産物適正処理推進要項**に関する問題でした。

この問題が、**選択してはいけない問題**でした。

平成 3 0 年、2 8 年、2 5 年と類似ではありますが、条文を変えてきておりますので非常に難しい問題でした。

問題 8 ～ 1 1 選択問題 穴埋め問題

難易度：例年通り

私が受験した場合は、**問題 1 0**と**問題 1 1**を選択します。

問題 8

出題内容は、**道路土工の切土法面施工時の排水処理**に関する問題でした。

この問題は、**令和 2 年 問題 7 と類似**でした。具体的な処置を記載しなければならず、「留意する」という書き方では、出題内容に沿っていないため、しっかりと文章を読む必要がありました。

問題 9

出題内容は、**コンクリートに発生したひび割れの防止対策**に関する問題でした。

この問題は、**令和 4 年 問題 9 と類似**であり、① 沈みひび割れ、③ 水和熱による温度ひび割れ、④ アルカリシリカ反応によるひび割れは対応できました。② **凍害によるひび割れ**は**初出題**であったため、無理に選択をしなくて良いものでした。過去問を対策していた方は**完全解答**できたのではないかと思います。

問題 10

出題内容は、**移動式クレーンを用いた作業中の現場状況図**を見て解答する問題でした。

この問題は、**令和元年 問題 10 と類似**でした。

移動式クレーンを用いた状況図の問題は、令和元年以外にも、令和 3 年、平成 28 年と出題されております。記載しなければならないものは「クレーン等安全規則」に定められているものだけですので、労働安全衛生規則に関することは解答してはいけないものでした。

問題 11

出題内容は、**騒音防止対策**に関する問題でした。

この問題は、**令和 6 年 問題 11 と類似**でした。

騒音だけに限られていましたが、過去に出題された内容と被っていましたので、過去問を対策していた方は**完全解答**できたのではないかと思います。

全体を通して、**過去 9 回分に出題された問題で似たパターンの問題が多い印象**があったため、問題 2 ～ 11 はしっかりと対策しておけばある程度の解答はできたのではないかと思います。経験記述は、例年同様やや難しく、パターン化を防止するための問題が出題されているため、**臨機応変に対応できる記述を作成することが重要なもの**だと感じました。